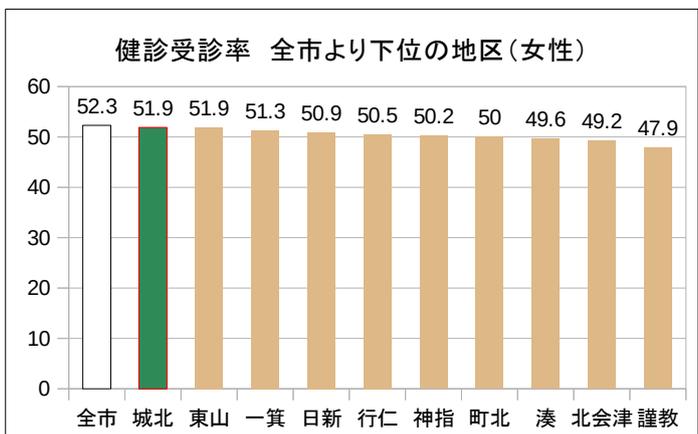
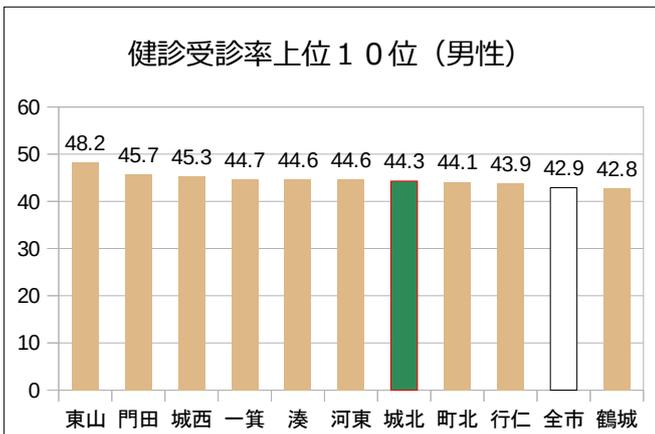
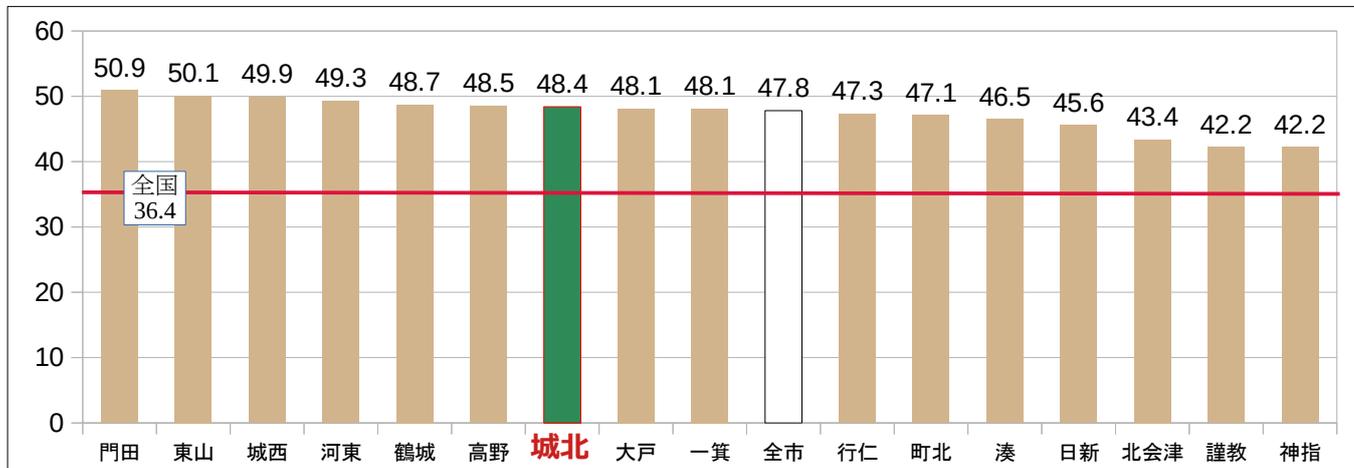


城北地区編

16地区の中で
城北地区はどの位置？

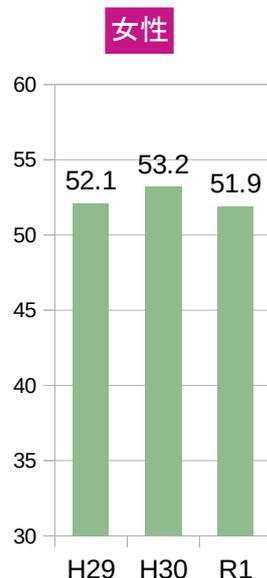
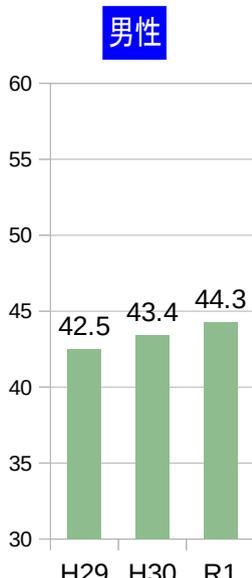
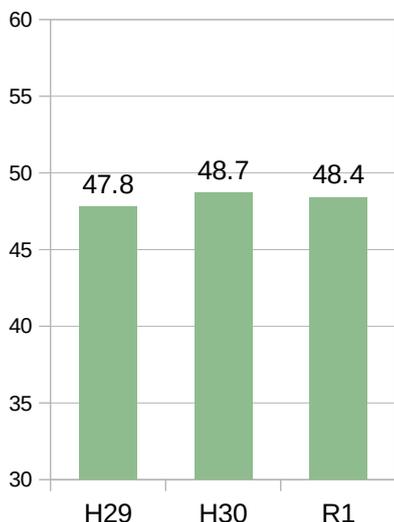
特定健診対象者数
1734人
(KDB データ)

国民健康保険 特定健康診査受診率 (R1年度)



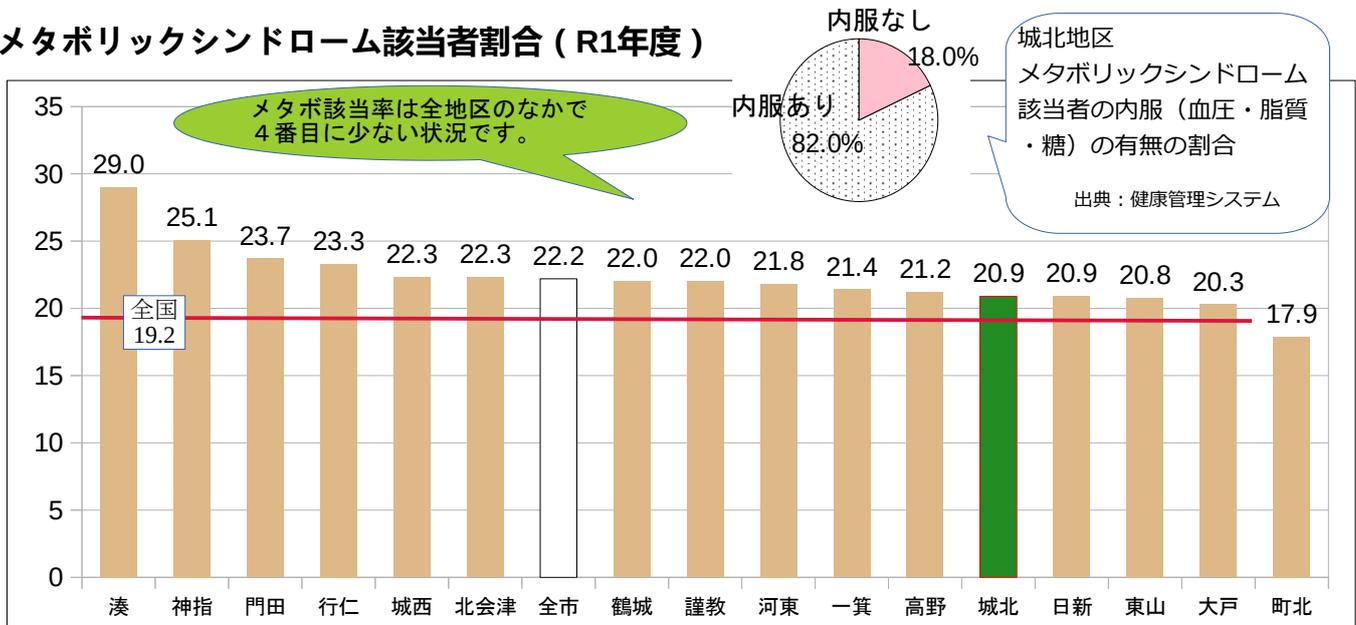
特定健診受診率は、16地区中**第7位**でした。
男女別では、**男性は全市平均より高く**、**女性は全市平均よりやや低い**結果でした。

健診受診率の推移

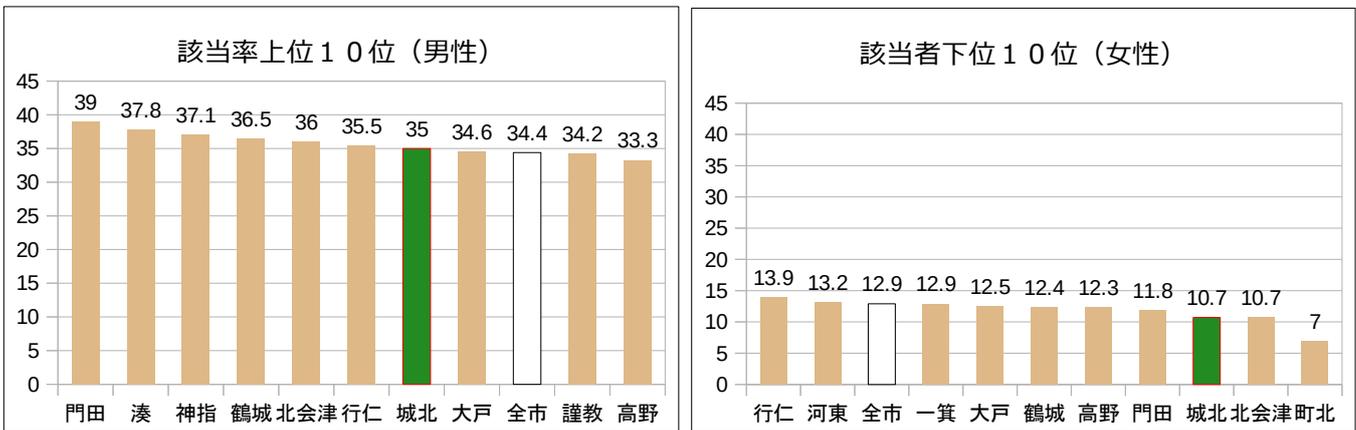


城北地区の健診受診率は
ほぼ横ばいです。
H29年度から、男性は少し
ずつ増加していますが、
まだ半数以下です。
女性は半数を超えています
が、ほぼ横ばいです。

メタボリックシンドローム該当者割合 (R1年度)



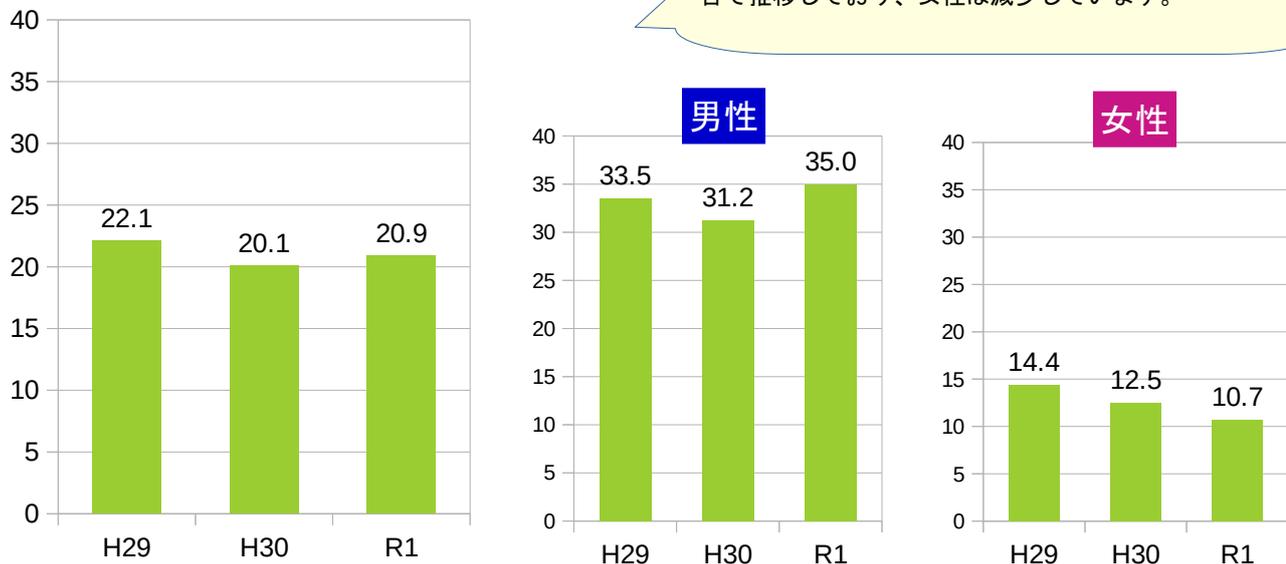
メタボリックシンドローム該当者割合 (男女別)



メタボリックシンドロームの該当者割合は、**男女合計で20.9%と全市の割合より少ない**です。男女別でみると、男性は全地区の中で7番目に多く35%、女性は10.7%で全地区の中で2番目に少ない結果でした。男性は、女性の割合の3倍以上の該当割合です。

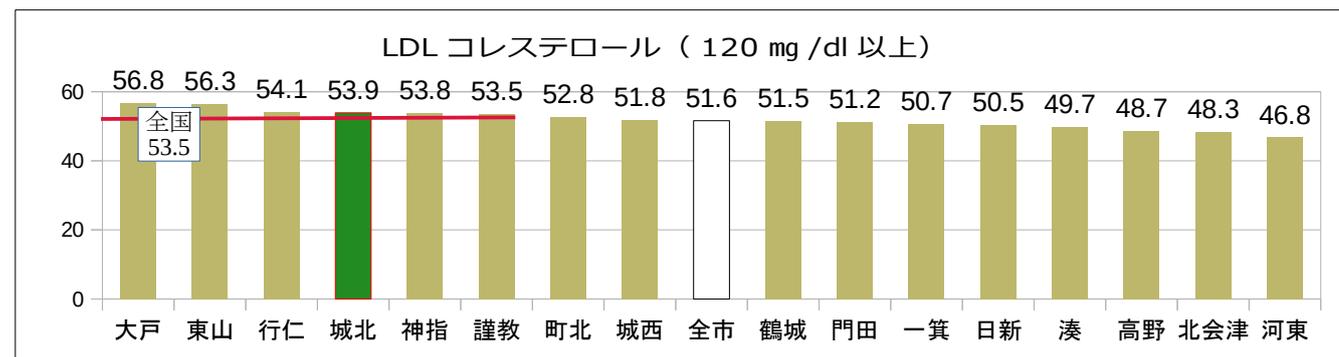
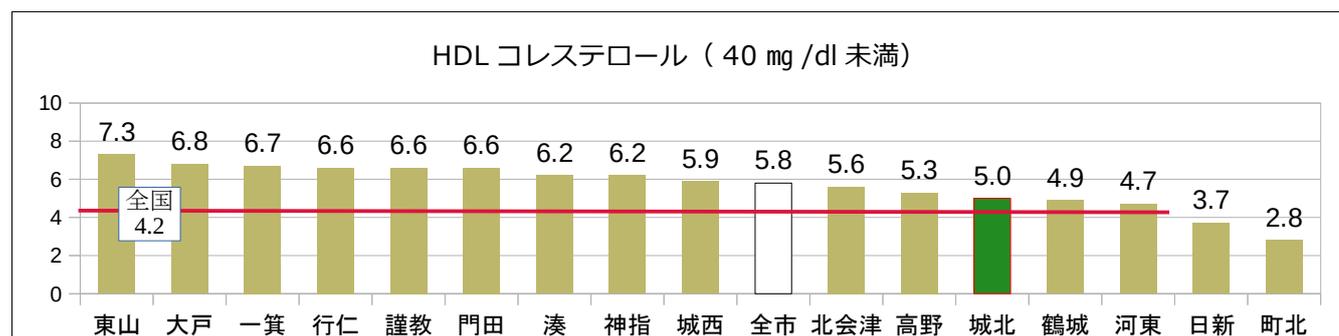
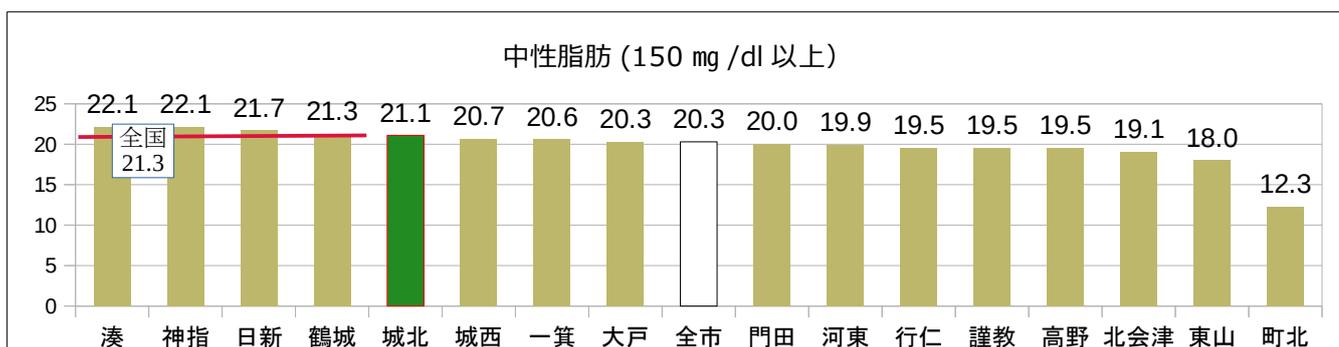
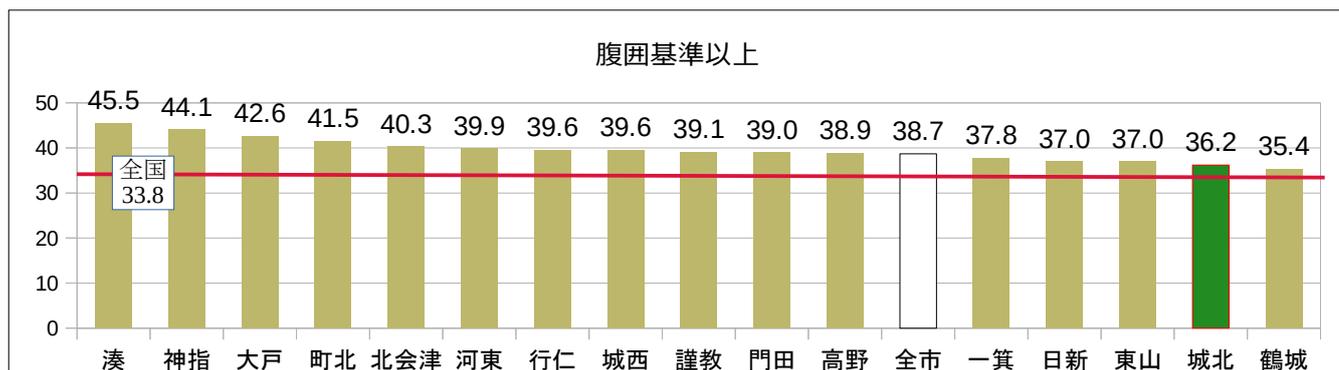
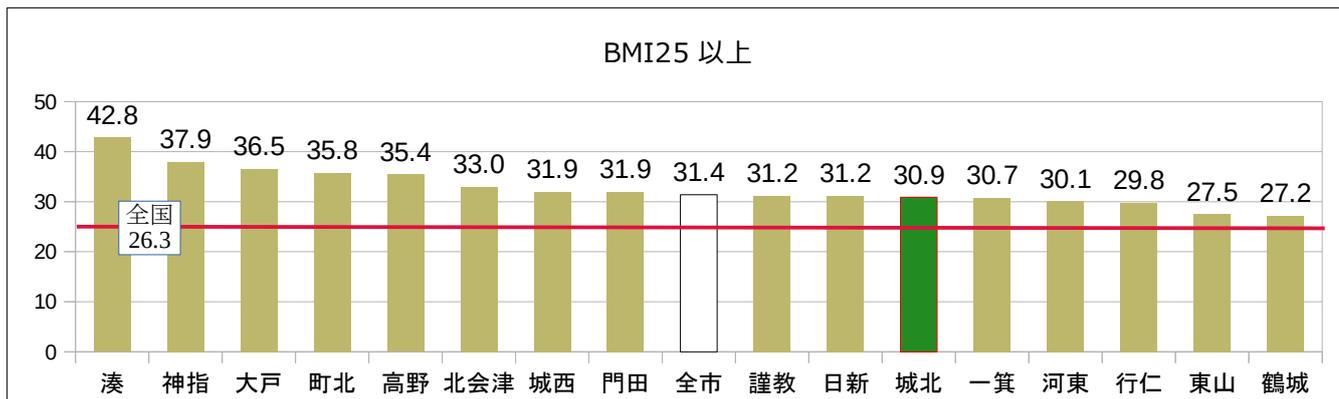
メタボリックシンドローム該当者割合の推移

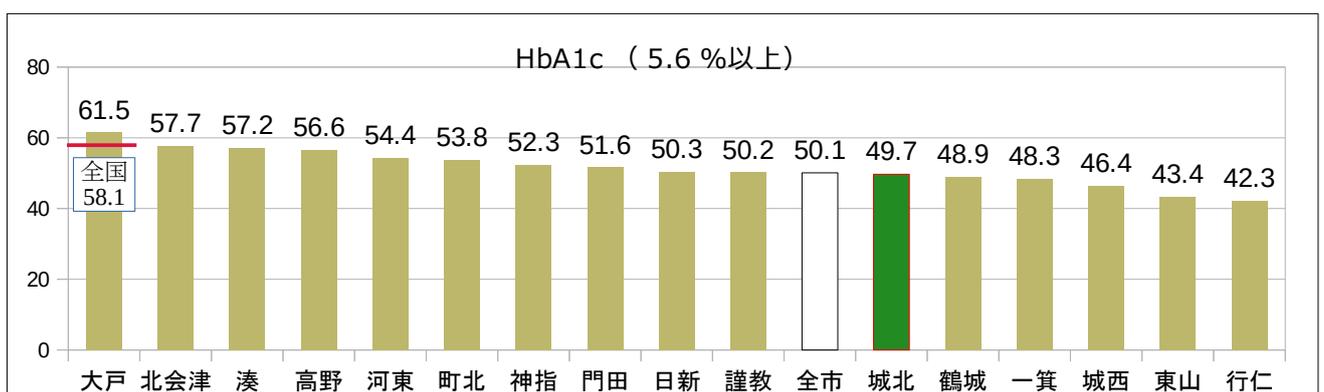
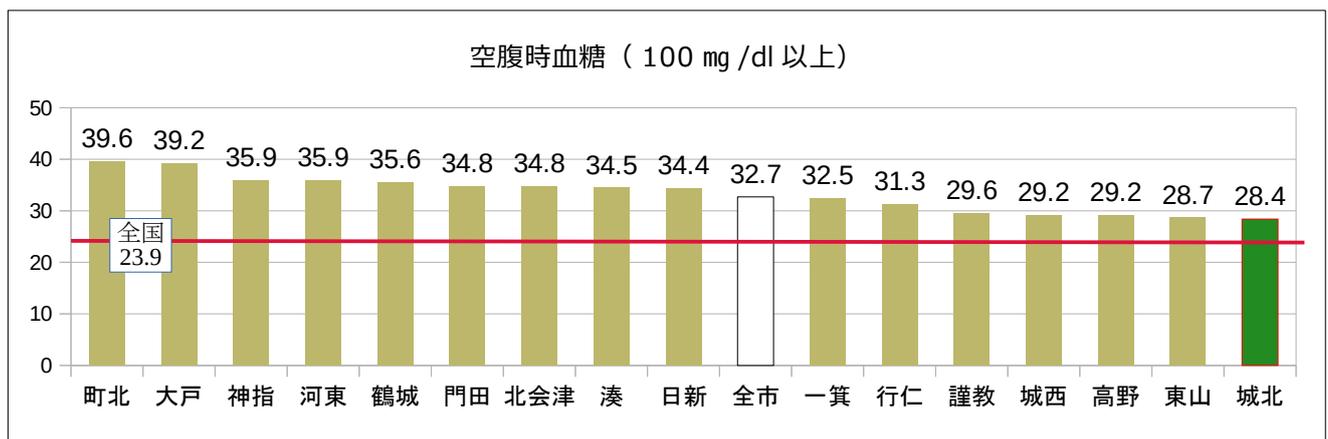
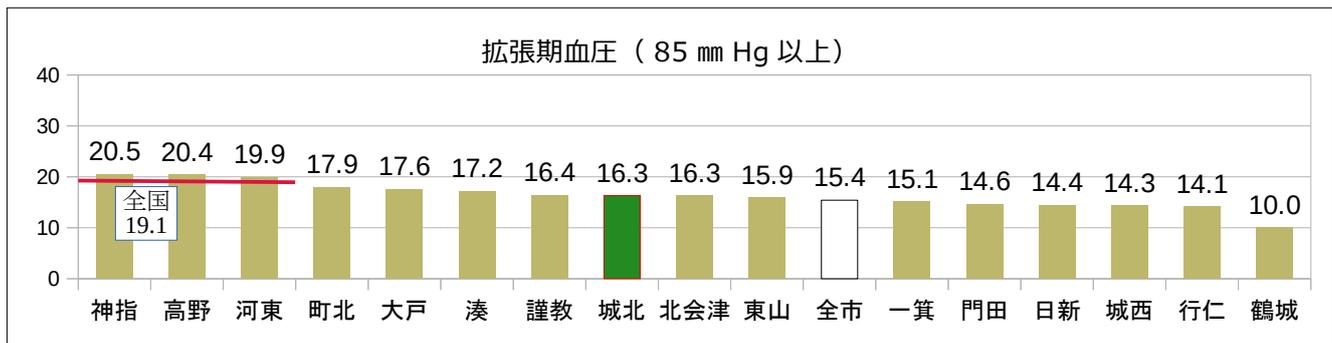
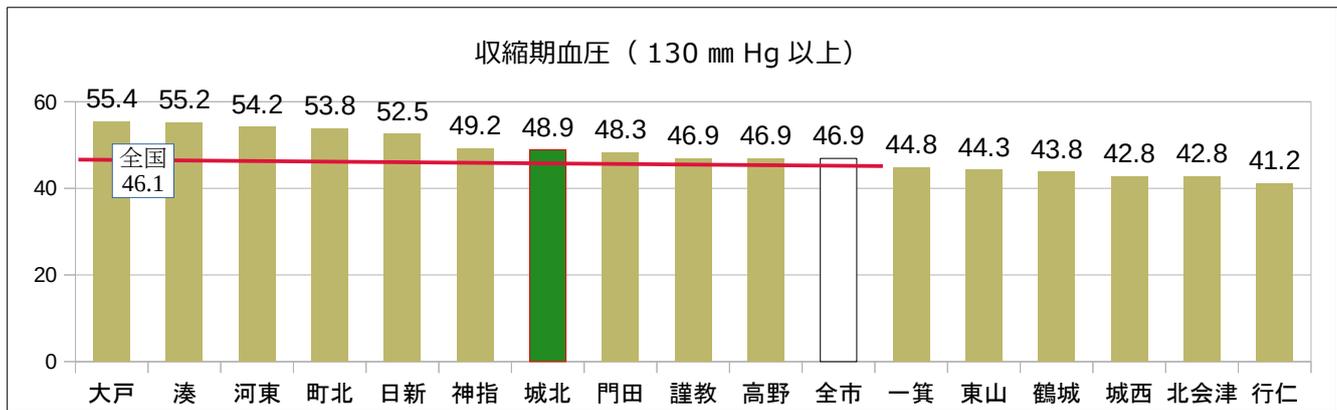
メタボリックシンドローム該当者の割合をみると、ほぼ横ばいの状況です。男女別をみると、男性は30%台で推移しており、女性は減少しています。



各検査項目をみてみましょう。

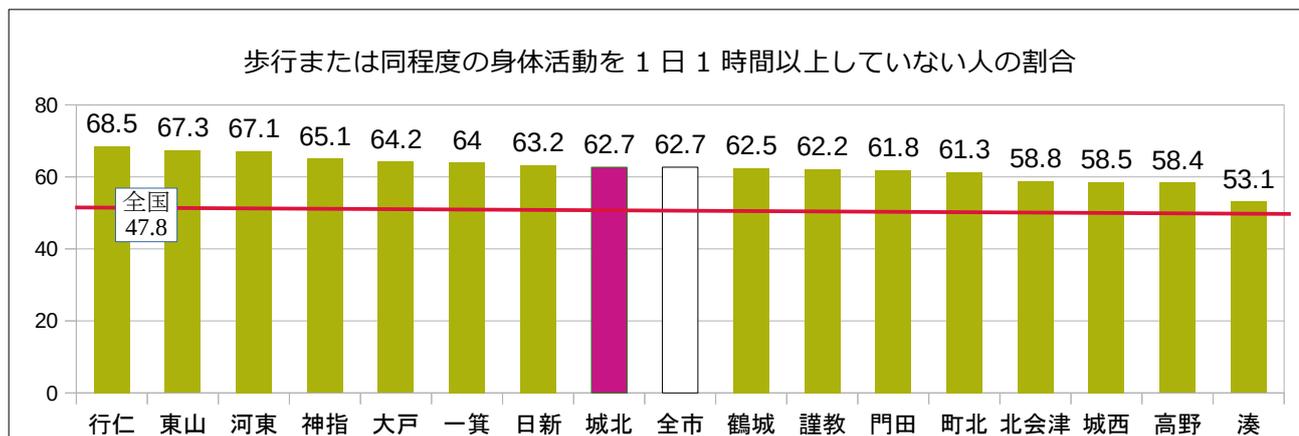
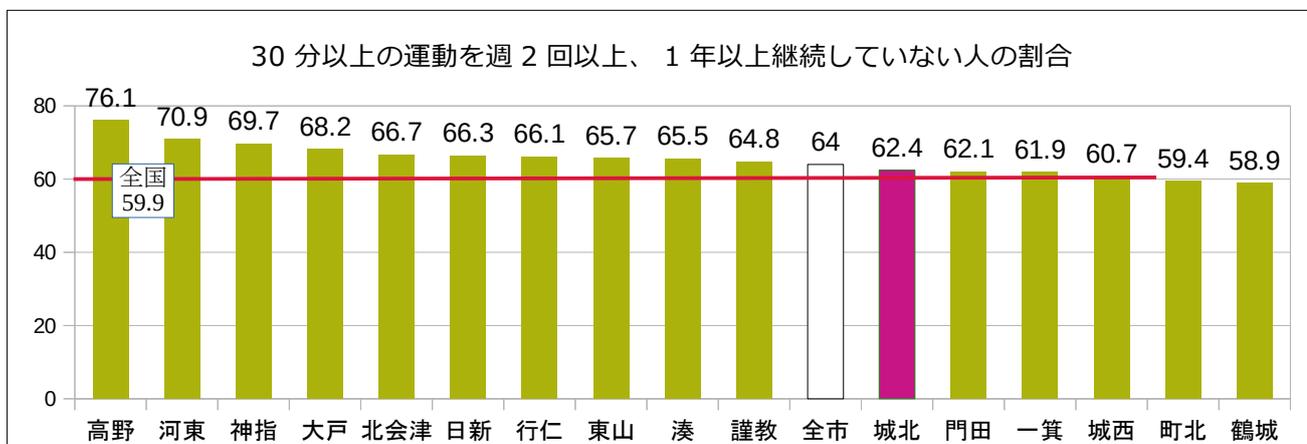
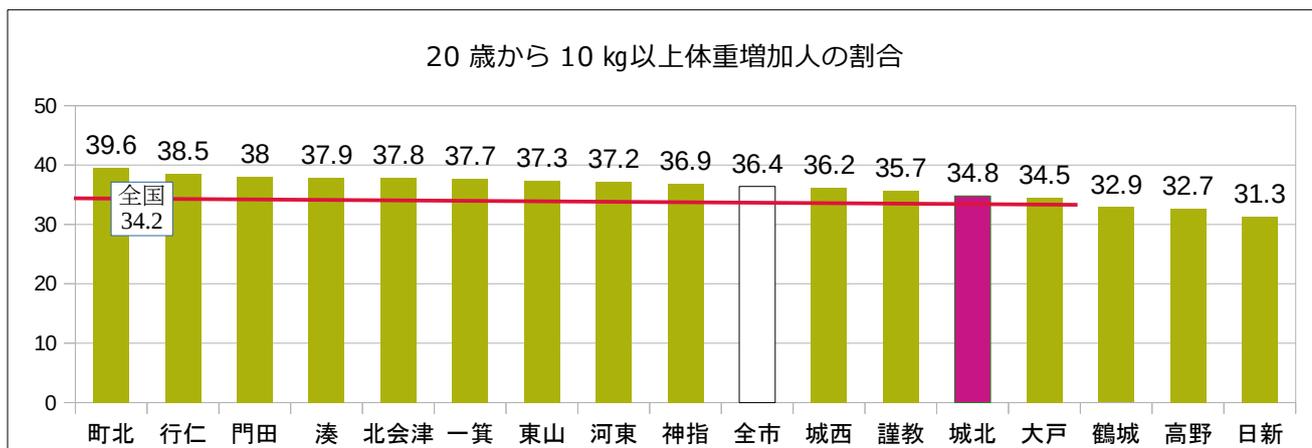
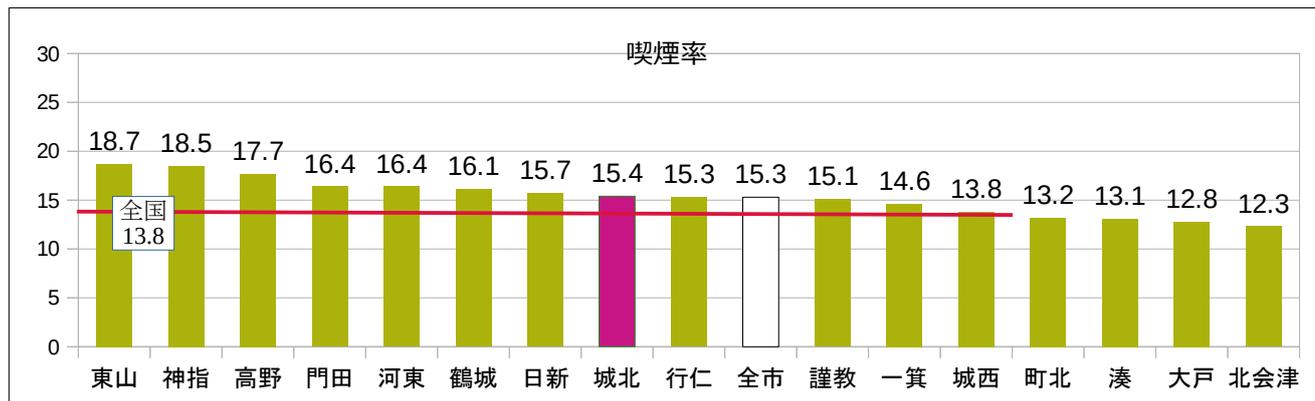
(R1年度健診結果)



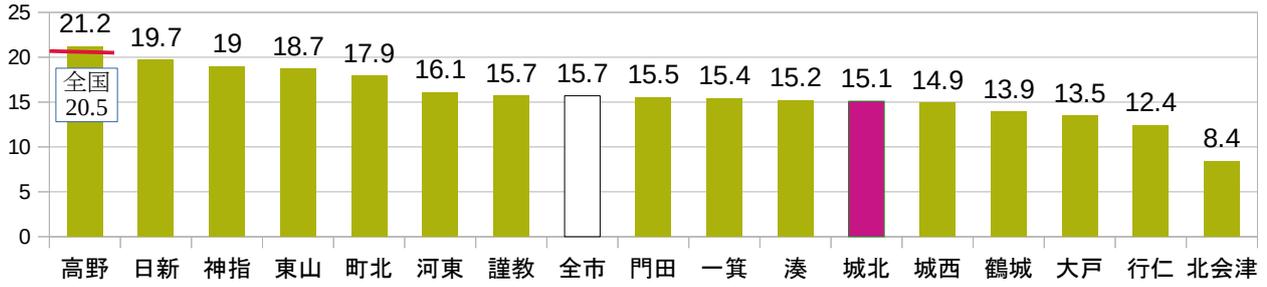


生活習慣（問診項目）はどんな傾向でしょう？

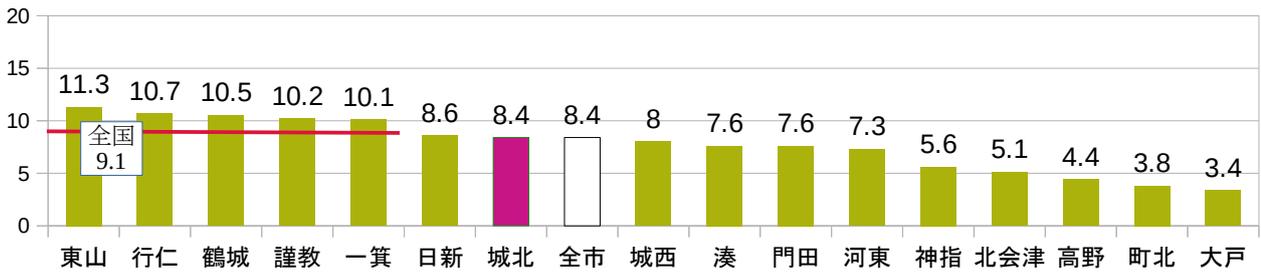
（R1年度健診の問診結果）



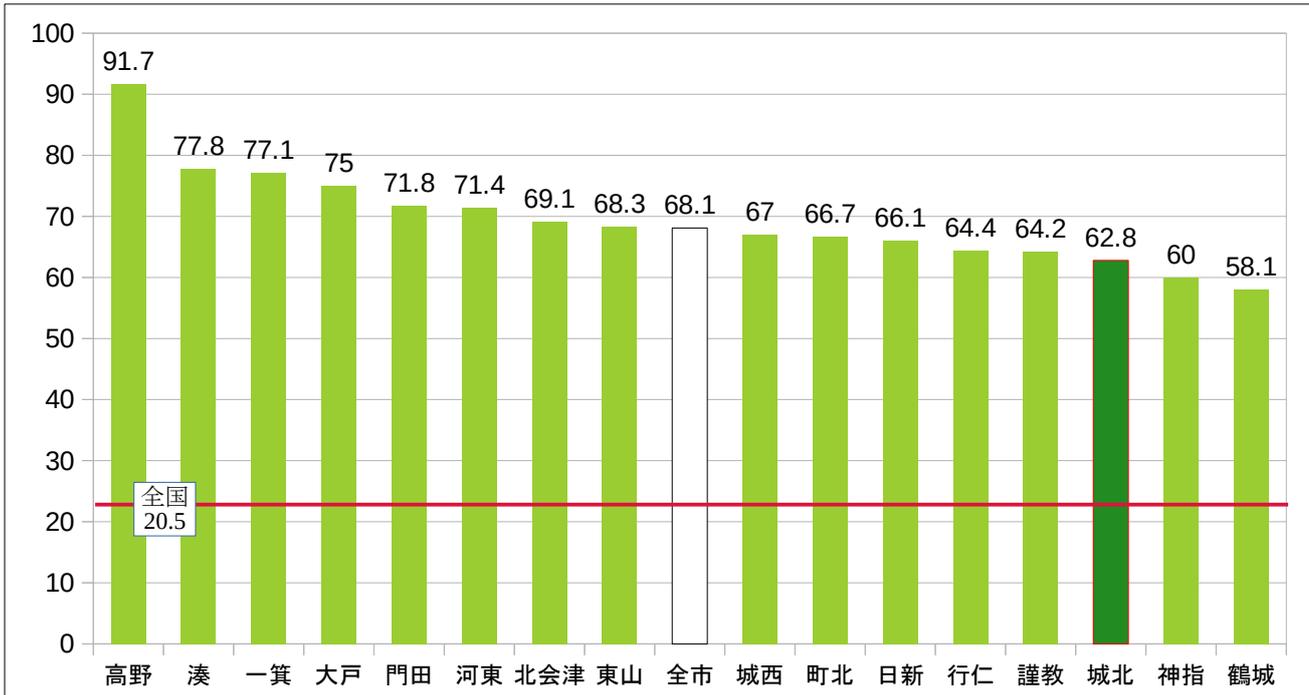
間食や甘いものを毎日摂取している人の割合



朝食を週3回以上抜く人の割合



特定保健指導利用率



※出典：北会津地区は健康管理システム

検査項目や生活習慣（問診項目）で全市の割合より多い項目を男女別でみると・・・

中性脂肪（150mg/dl以上）：4位 / 16地区

順位	男性	順位	女性
1	大戸 34.6	1	日新 20.4
2	湊 32.9	2	城西 16.3
3	城北 31.3	3	鶴城 16.2
4	門田 29.8	4	行仁 16
5	行仁 29.3	4	神指 16
5	神指 29.2	6	河東 15.9
7	鶴城 28.9	7	高野 15.4
8	一箕 28.3	8	一箕 14.7
9	謹教 28	9	謹教 13.9
10	城西 26.6	10	城北 13.7

中性脂肪が基準値より高い人の割合は、男性が3位と上位で、30%を超えています。女性は10位で、男性に比べて低い傾向にあります。

LDLコレステロール（120mg / dl以上）：4位 / 16地区

順位	男性	順位	女性
1	神指 57.3	1	東山 61.9
2	大戸 55.8	2	謹教 58.4
3	町北 53.1	3	行仁 58.1
4	湊 52.4	4	日新 57.6
5	一箕 50.7	5	城北 57.4
6	東山 49.3	6	大戸 57.3
7	城北 49	7	鶴城 55.2

LDLコレステロールが基準値より高い人の割合は、男性が7位、女性は5位です。男性は約半数、女性は半数以上になっています。

収縮期血圧（130mmHg以上）：7位 / 拡張期血圧（85mmHg以上）：8位

男性

順位	収縮期血圧	順位	拡張期血圧
12	北会津 49.8	1	神指 30.3
13	城北 49.6	2	河東 25.8
14	鶴城 48.7	3	高野 25
15	城西 47.7	4	城北 22.5
16	行仁 45.7	5	北会津 21.3

女性

順位	収縮期血圧	順位	拡張期血圧
1	湊 58.7	11	城北 11.9
2	大戸 55.2	12	城西 11.5
3	町北 52.6	13	行仁 11.4
4	河東 50.8	14	日新 11.2
5	日新 49.4	14	門田 11.2
6	城北 48.4	16	鶴城 7.8

血圧は、収縮期・拡張期共に全市平均よりは基準値より高い人の割合が高い状況です。男女別でみると、男性は拡張期血圧が高い人の割合が高く、女性は、収縮期血圧の高い人の割合が高い状況でした。